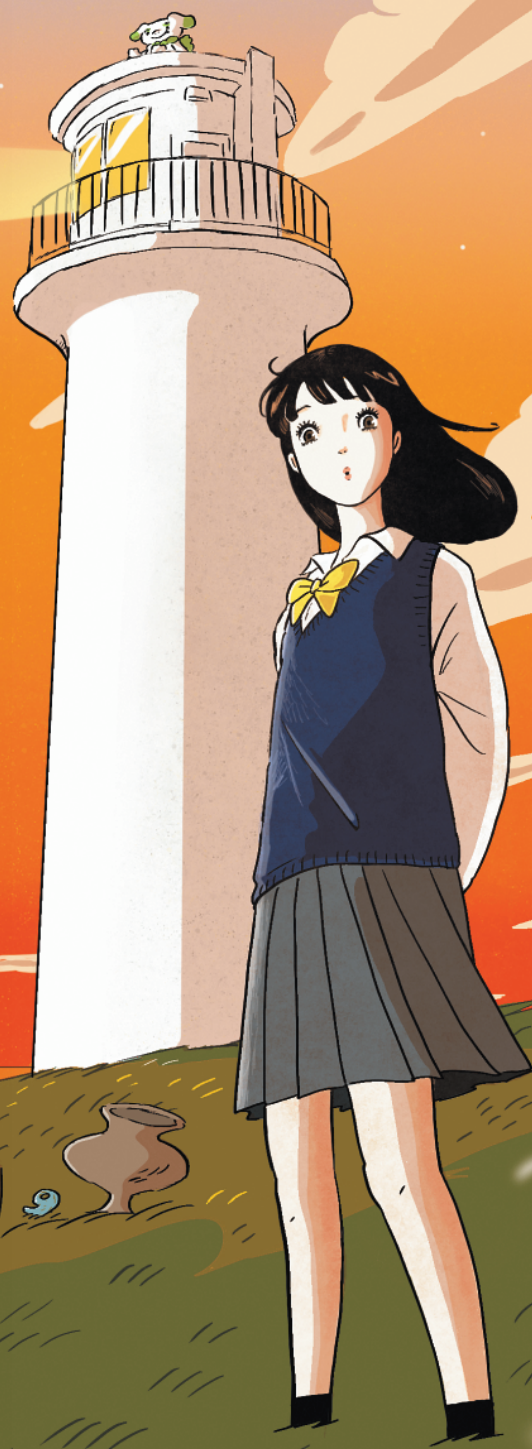


AOYA Toudai Monogatari

青
月
谷
灯
台
の
物
語

そこにあつたのは鳥取の海のロマン



鳥取県の真ん中より
少し東にある
鳥取市青谷町^{あおやちやう}。

海と山に囲まれた
人口六千人程の
のどかな町…



ここは、
そんな青谷町にある
小さな喫茶店—

喫茶灯台

いらっしやいま—

喫茶灯台の一人娘
灯子^{とうこ}(16)

…ただいま

…って
灯子かあ…

娘が帰ってきて
そりやないでしょ

どうやらお店は
あんまりうまく
行っていないみたいで…

「青いカレー」を
思いついた時は
いけると思った
んだけどなあ

はああ…

青谷だけに青いカレー!

食べたのは
日取初です…

もう、お店始めるの
二人の夢だったん
でしょ!?

ため息
ぽっかり!!

もつと色々
考えなよ!

考えろって
言っただってなあ…

—はっ待て…
いいこと思いついた
かもしれん!

青いラーメン

なんてどうだ!?

麺で水面を表現して…!!

おほか

カク

キエ

えっ

なにになっ

家族会議も虚しく
空回りばかり
している模様…

はあ

我が親ながら
アイデアが
安直というか…

キエ

キエ

キエ



もっとこう…

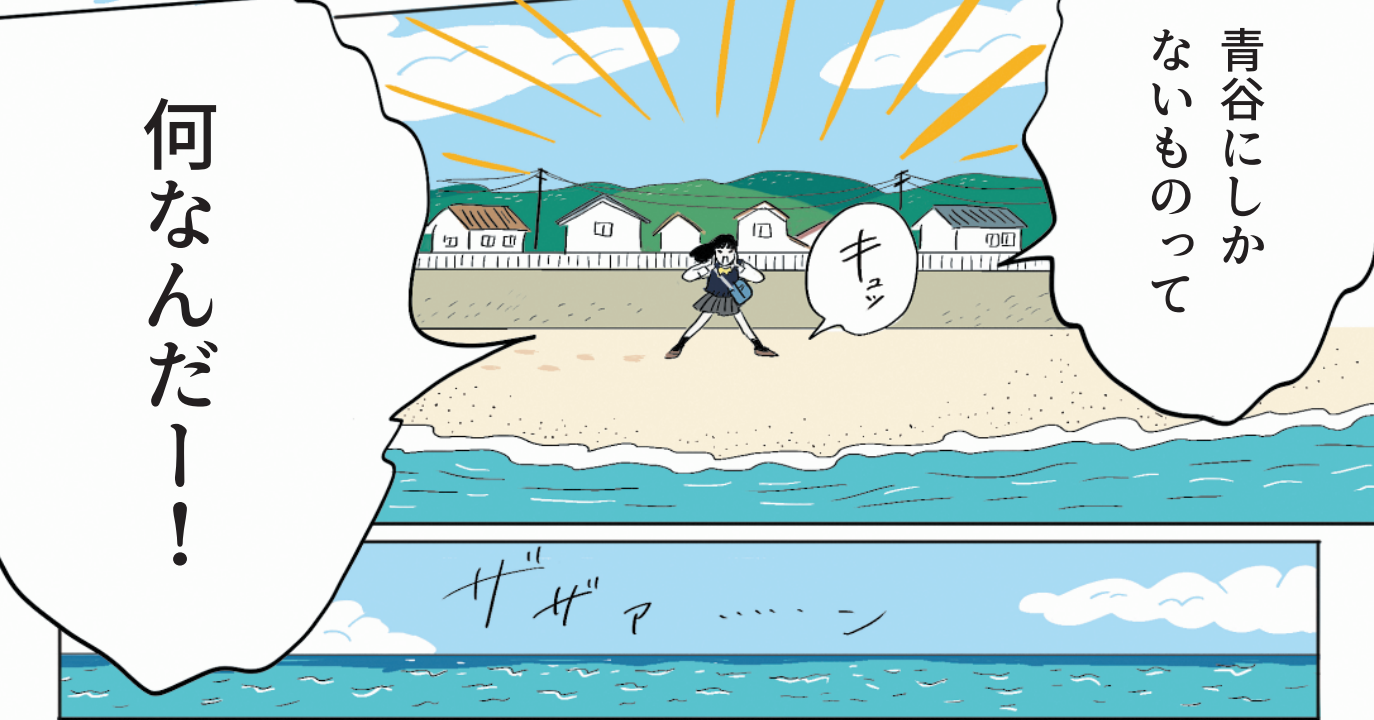
青谷にしか
できないことが
したいんだけど…

海と山しか
ないんだよなあ…

砂丘みたいなの
目玉がない…



くっそく



青谷にしか
ないものって

キャッ

何なんだー!

サッサア ……ン



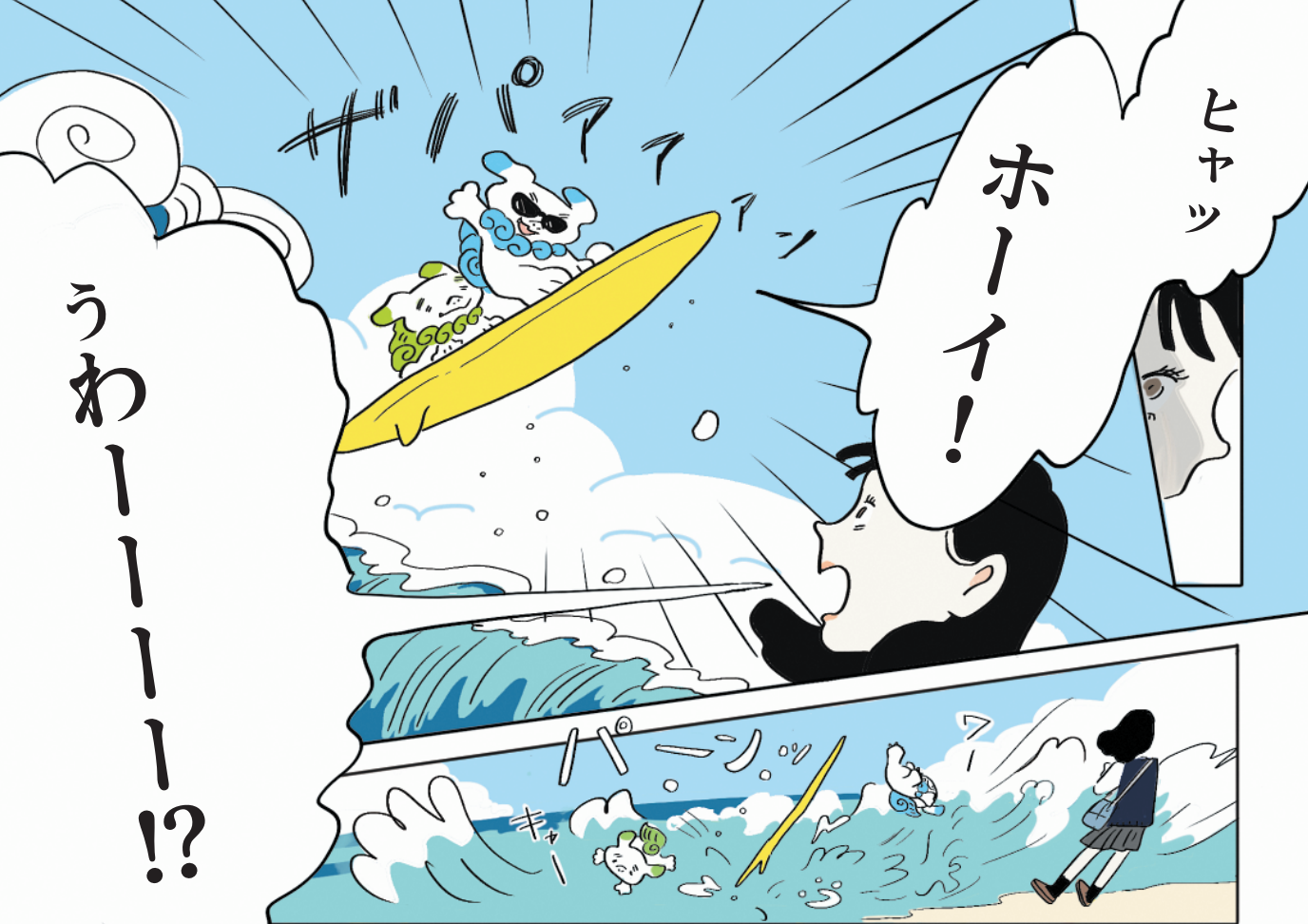
—ふ、なんちゃって
海にさげんだって
しょうがな—

それならばくらに
任せて!!

カ

ツ

へ?



こ、
狛犬!?



※きれいな海、石英のきれいな砂粒があわさり、歩くとき虫騒
な音が鳴る砂。青谷町には全国有数の鳴り砂の浜がある。
Yonida♥海の教室 鳥取 鳴り砂



君

青谷にしかないものを
知りたいんだって??

え…!?

なんかよく分からんけど
助けようとしてくれてる!?

だいたい事情は
知ってるぜ

お父さん、
お母さんのお店、
何とかしたいんだろ?

いかにオリジナリティを出すか…
そこで悩んでるんだな

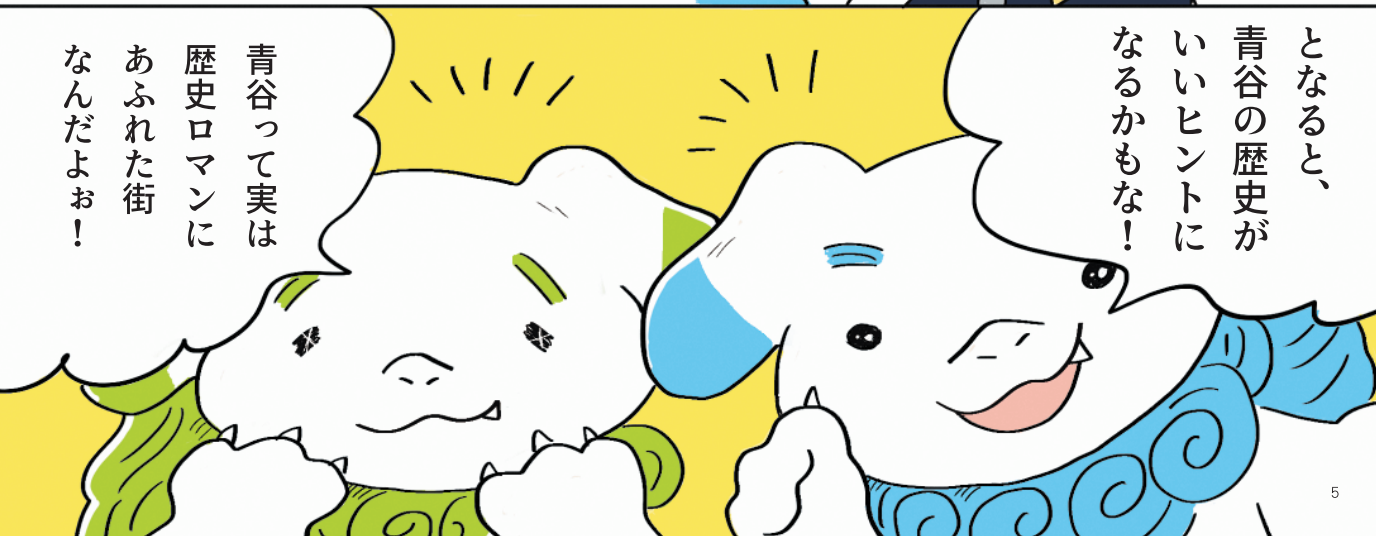
—何でそんなに
知つとるん!?

こわっ



となると、
青谷の歴史が
いいヒントに
なるかもな!

青谷って実は
歴史ロマンに
あふれた街
なんだよお!



歴史…!?
てか一体
君たちは—

まあまあ
落ち着いて

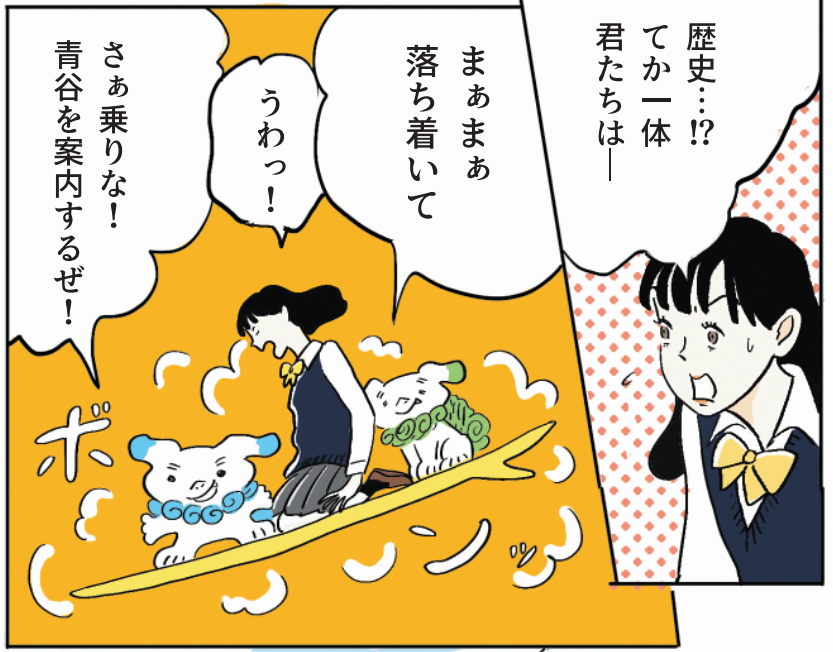
うわっ!

さあ乗りな!
青谷を案内するぜ!

と、飛んでる!

自慢の空飛ぶ
サーフボードだぜえ

波より風の方が
うまいんだ



おれらは

江戸時代の名石工
「川六」が作った

狛犬の精霊

青谷で活躍したんだ

青谷がふるさと
趣味はサーフィン

青谷の魅力は誰よりも
わかってるからな

君を応援したく
なっちゃったんだ!



青谷は
大むかしから海と
密接に関わってきた
町なんだ

ほら、あれを見な

特にあの「長尾鼻」
ながおばな

あの岬があることで
青谷にしかない歴史が
生まれたんだ

MAP

鳥取県最大の岬
長尾鼻

青谷町

鳥取市

八頭町

青谷にしかない
歴史？
そんなのあるの？

あ、あれ……
長尾鼻……
存在は知ってたけど……

「長尾鼻」「弥生時代」
「港町」

この3つがポイントだよ

よし
早速その時の
様子を見てみよう！

へっ!!

…あ、あれ

ここは……？



ここは
弥生時代の
青谷だよ

ええ!?

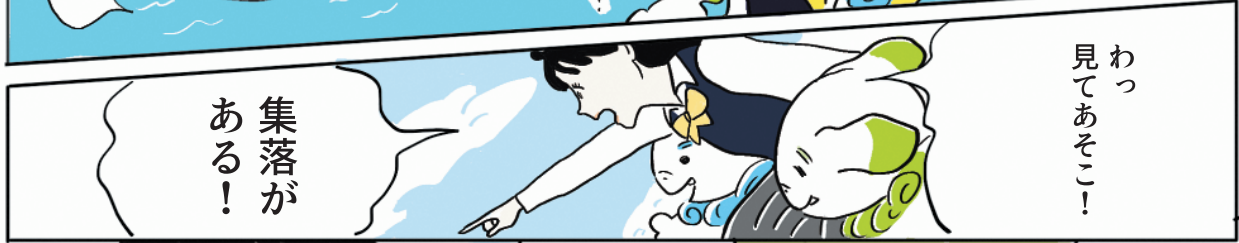
さっき見た
長尾鼻は
あそこだけ

弥生時代から
あったの!?

てか地形が
全然違う!

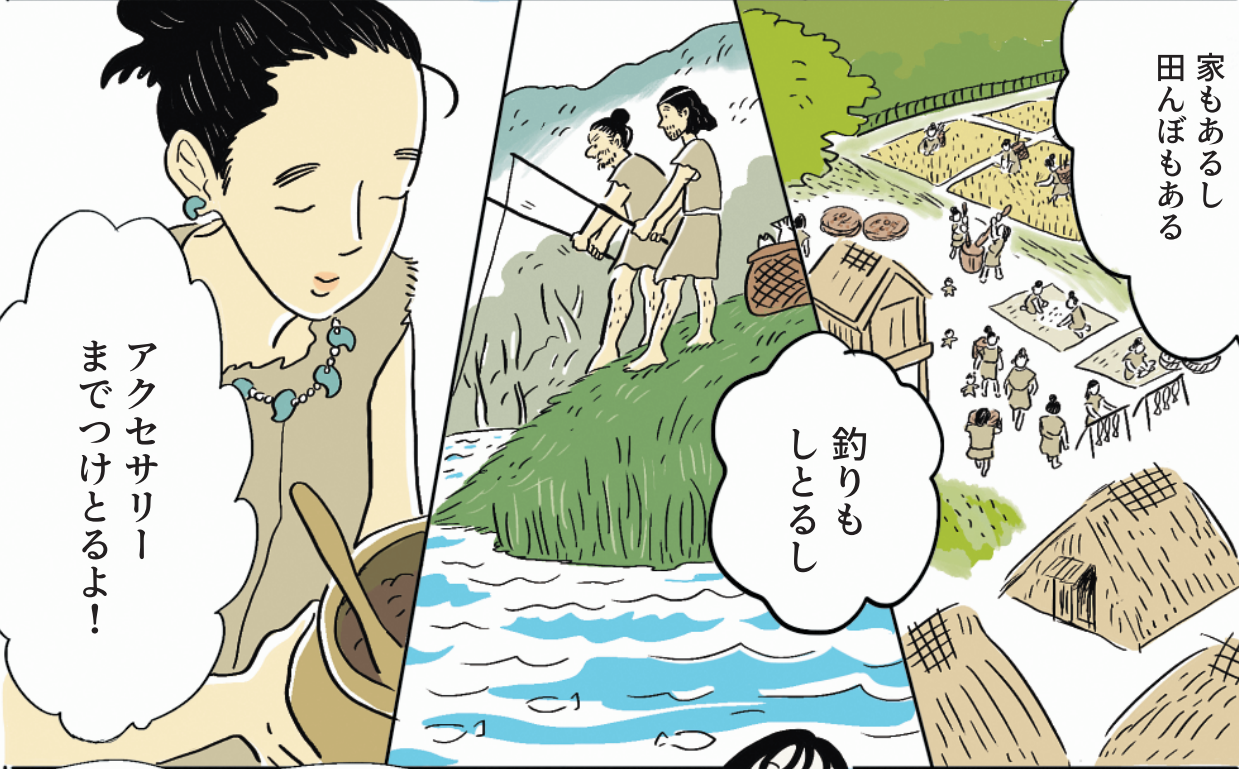
弥生時代の
青谷平野には
内海が広がって
いたんだ

へー!



わっ
見てあそこ!

集落が
ある!



家もあるし
田んぼもある

釣りも
しとるし

アクセサリー
までつけとるよ!



えー本当に
ここ青谷!?

こんなに
たくさん人が
暮らした
んだ!!

そう、
このころ青谷は
山陰地方を
代表する港町
だったんだ

すでにお米も
作っていたし、
漁業も始まって

岩場が多く
魚や貝が
豊富だった

中国や朝鮮半島とも
交流があったんだ
渡来人も来たり
してたんだ

青谷が港として
栄えたのは

長尾鼻の存在が
あったのも
大きいんだぜ

海から見ると
とんがって見えるから、
自然とここが目印になって
港の入り口になったんだ

長尾鼻 ↓

へえ〜！

たくさんの
人やものが集まり、
行き交う中で

新しい
文化や技術が伝わって、
青谷は栄えて
行ったんだ

その証拠に
あおや「青谷上寺地遺跡」
かみじ
ちい
いせき
 からは、



他にも建物・水田跡や
 生活排水用の溝(ぼじ)...

地下の弥生博物館と
 言われるくらい、
 たくさんのが
 発掘された！



出土品の中でも特に
 びっくりなのは、
 『弥生人の脳』！



しかもレア状態...

世界でも数例しかない
 貴重な資料だよ

日本最古の脳が
 3点も見つかったんだ

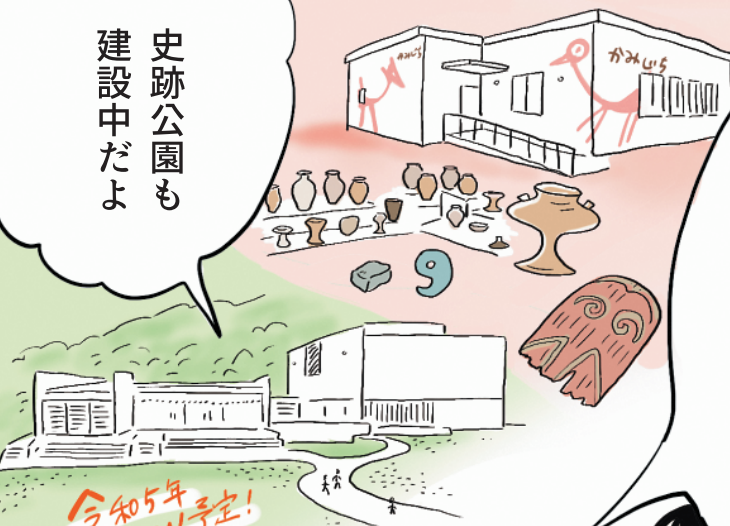


の、脳...！

そんなのも
 出てたんだ！

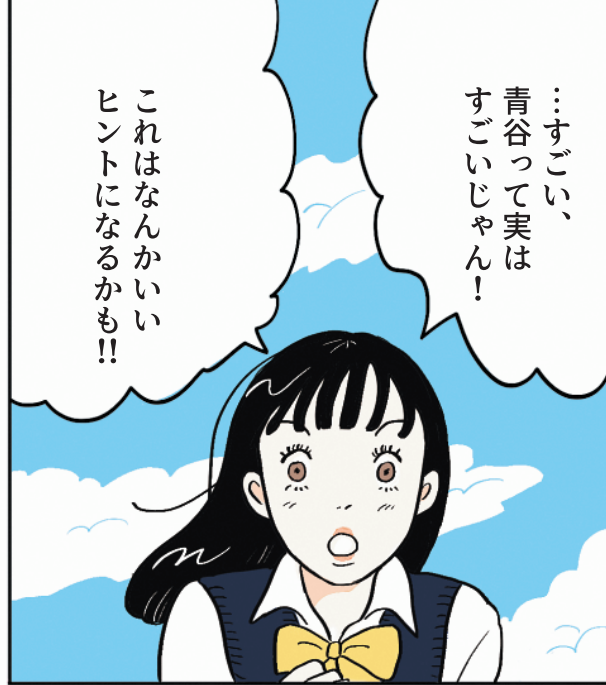
ちなみに出土品は

「青谷上寺地遺跡展示館」
 で見られるぞ

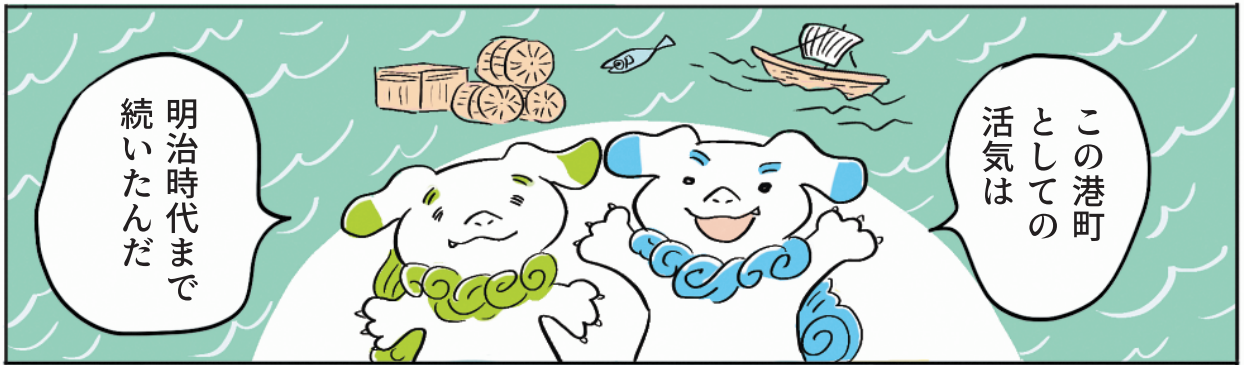


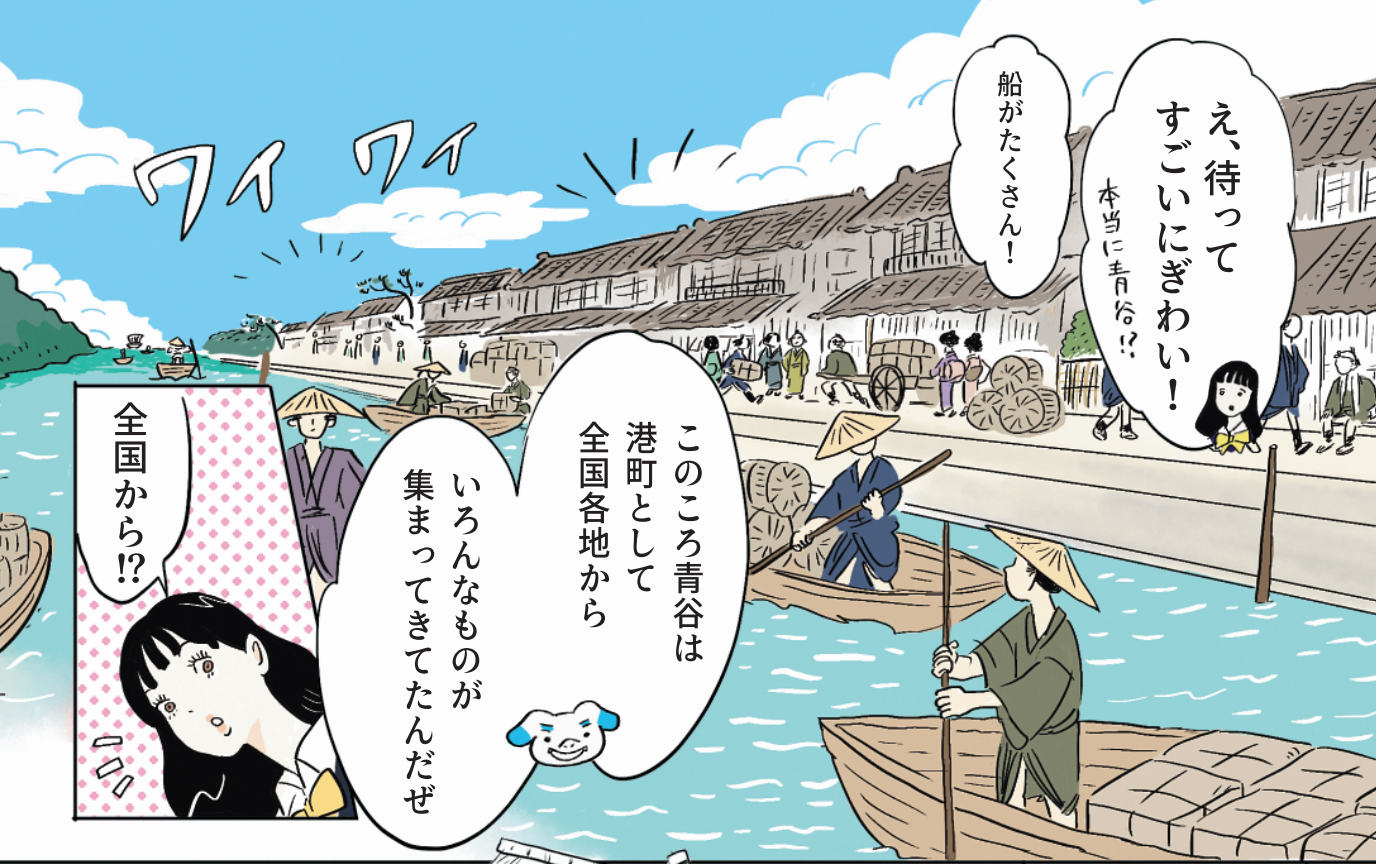
令和5年
 OPEN予定！





…すごい、
青谷って実は
すごいじゃん!





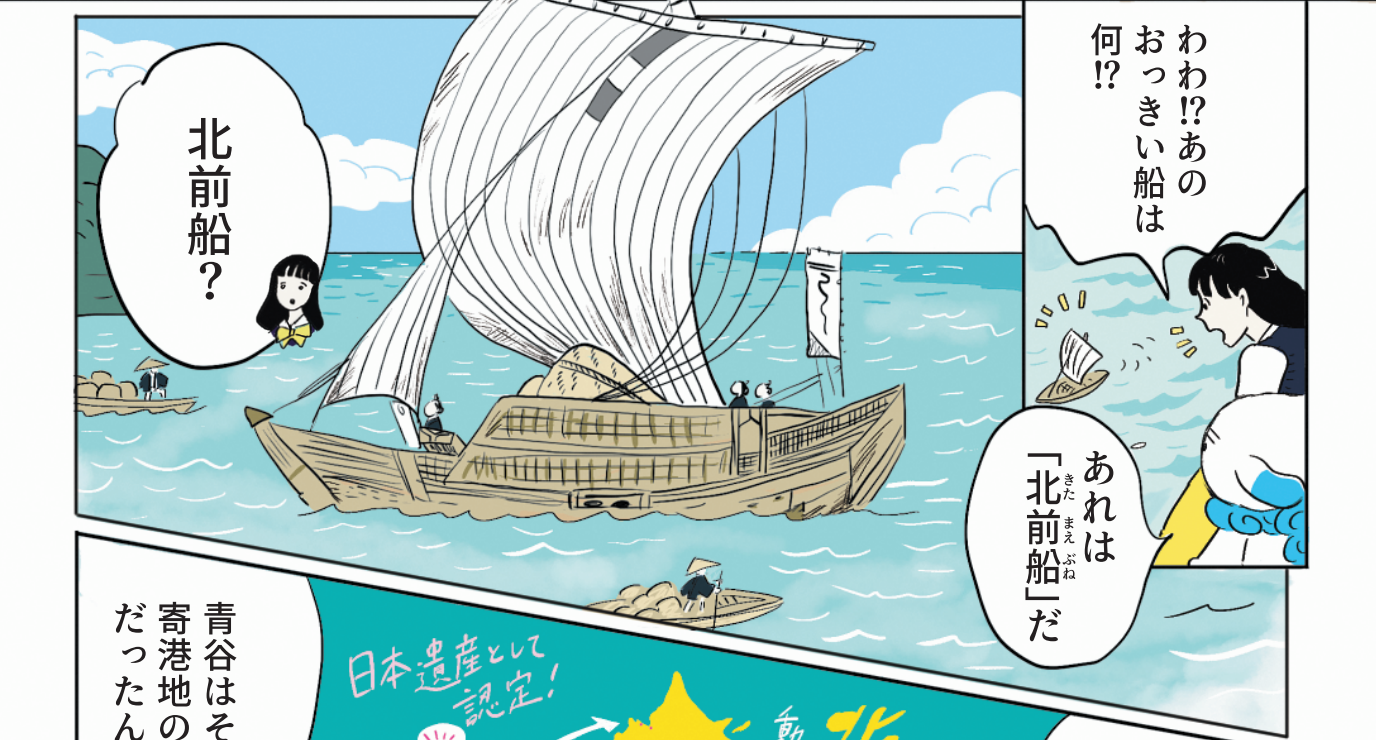
船がたくさん!

え、待って
すごいにぎわい!
本場に青谷?!

このころ青谷は
港町として
全国各地から

いろんなものが
集まってきてたんだぜ

全国から!?



わわ!? あのお
おっきい船は
何?!

北前船?

あれは
きたまえぶね
「北前船」だ

青谷はその
寄港地の一つ
だったんだ

日本遺産として
認定!



北前船
動く総合商社とも
言われた

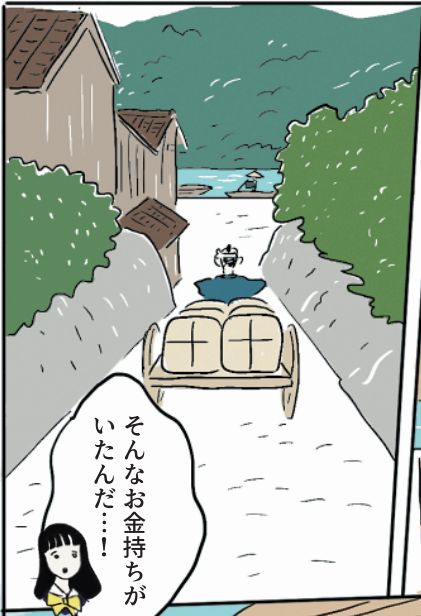
江戸時代から
明治時代にかけて、
北海道と
北前道と
大坂(大阪)を
行き来しながら
商売する船の
ことだ



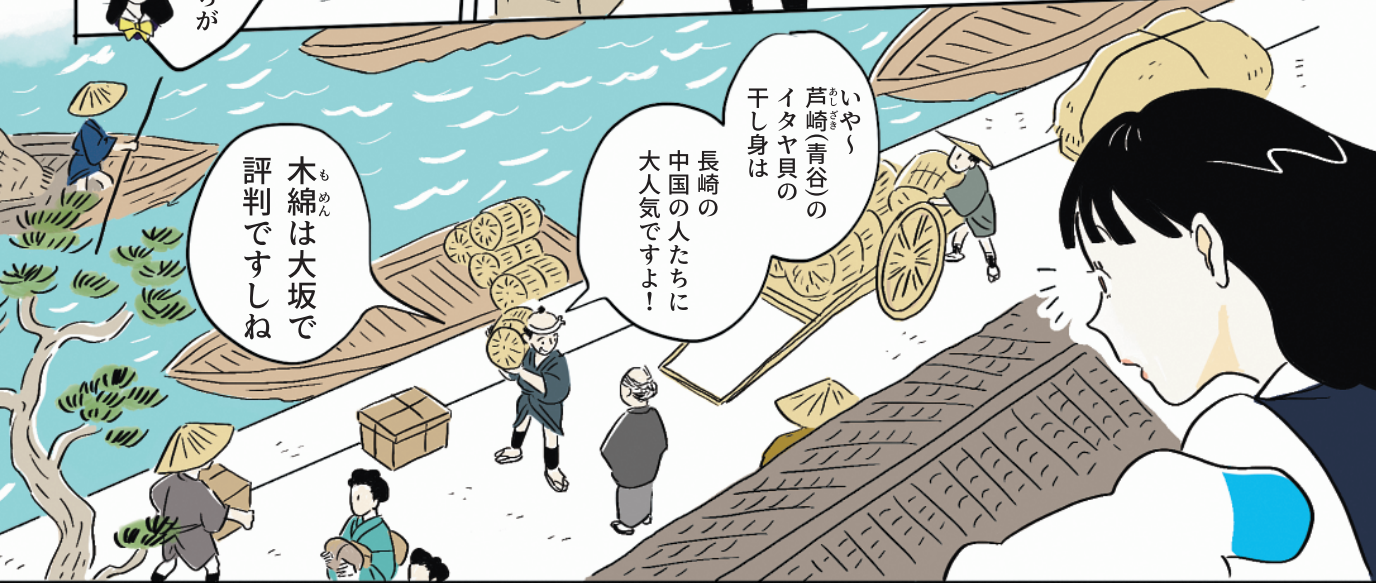
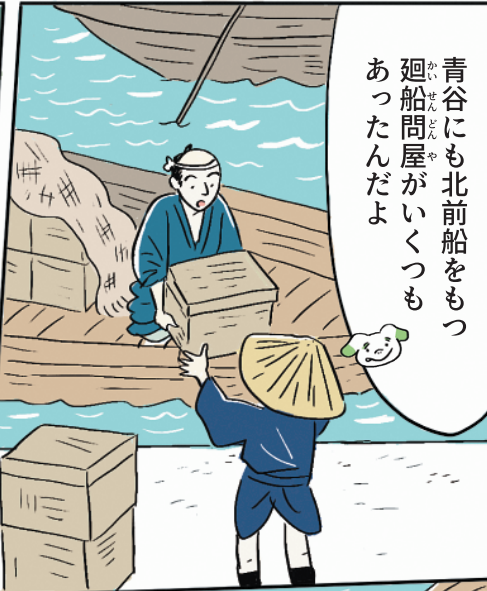
ちなみに
一回で得る利益は
今の価値で1億円ほど
だったらしい

1億!

青谷にも北前船をもつ
廻船問屋がいくつも
あったんだよ



そんなお金持ちが
いたんだ...!



木綿は大坂で
評判ですしね

長崎の
中国の人たちに
大人気ですよ!

いやす
芦崎(青谷の)
イタヤ貝の
干し身は

北前船に
乗って全国へ

米や海産物、

和紙...

特にイタヤ貝の干し身と
木綿は多く流通してたんだ

青谷の
特産品さ!

あれは何を
積んでるの!?

あの小船で
北前船まで運ぶんだ





和紙の伝統は
今も続いてて
「あおや和紙工房」
ではその歴史を
学べるよ

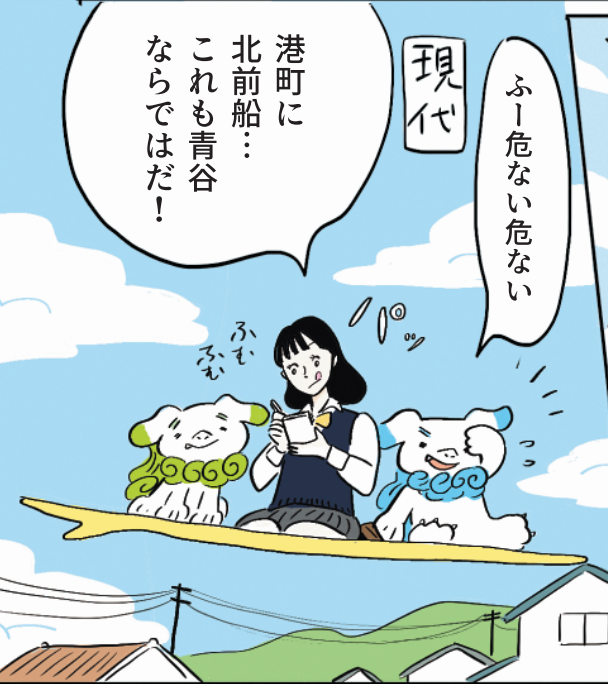
紙すき体験も
できるよ



ちなみに
鳥取でおなじみの
「貝がら節」は

この頃行われていた
イタヤ貝漁（貝がら漁）で
漁師たちが唄っていたものなんだ

今も残る
港町の面影……



港町に
北前船……
これも青谷
ならではのだ！

現代

ふー危ない危ない

ふむ



消えたっ
気のせいかな？



江戸時代のことか今にも
つながってるんだ!!

わっ
やばい！



すごい……
すごいよ

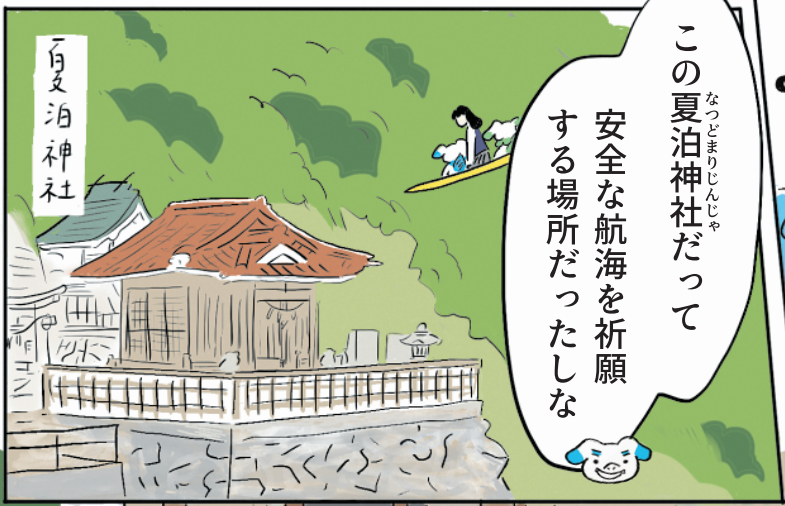
青谷にこんな
歴史があった
なんて！

豊かな海があったからこそだね



この夏泊神社だつて

安全な航海を祈願する場所だったしな

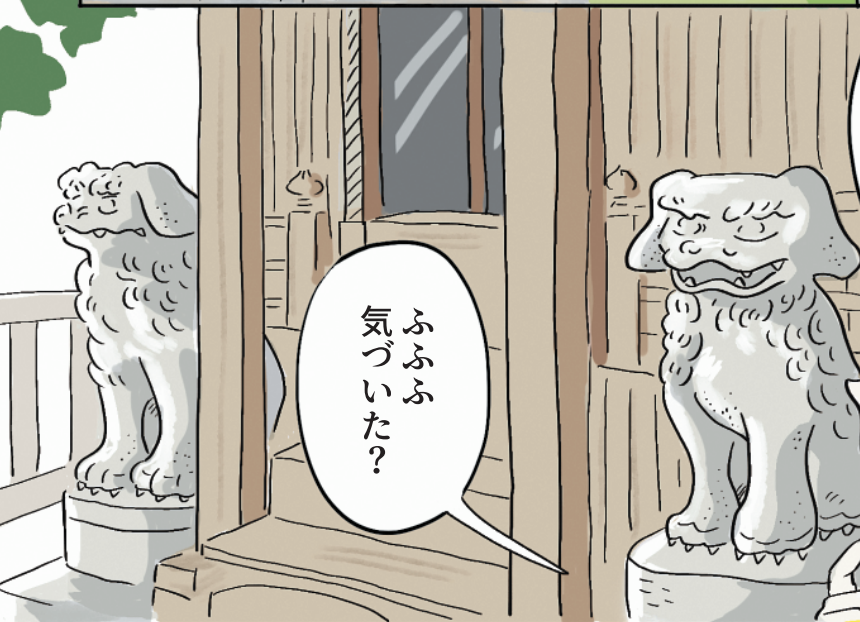


夏泊神社

何気なくあるものも、歴史と関わってるんだよ

あれ、これって…

ふふふ 気づいた?

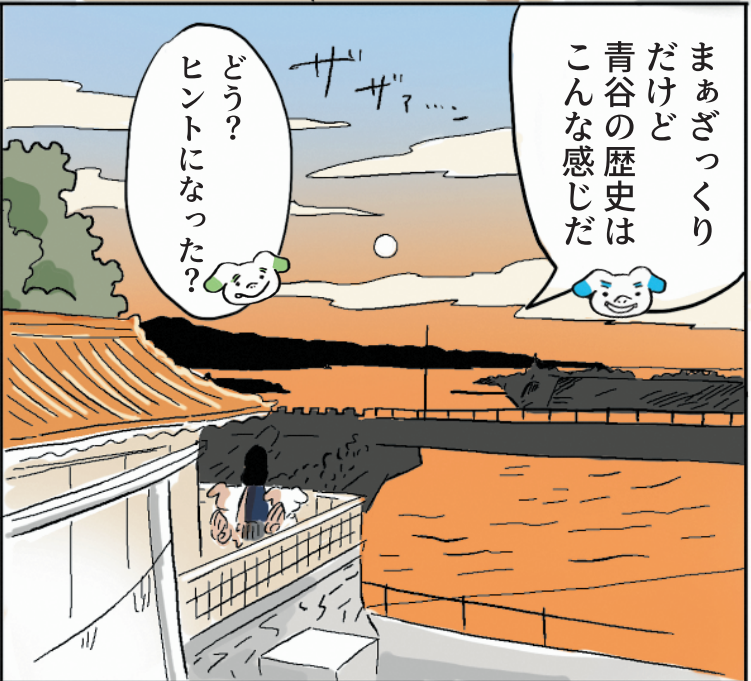


そう、おれたちが宿ってる狛犬だぜ!



まあざっくりだけど 青谷の歴史はこんな感じだ

どう? ヒントになった?



たこさんあるから探してみてね!



うん：なんかいい
アイデアが浮かんで
きそう！

それは
よかった

よし、それじゃ
最後にとっておきの
ところに連れてって
あげる！

え

おれたちの
お気に入りの
場所さ

ここは…

長尾鼻にある
「長尾鼻灯台」だよ

※実際は海上保安庁の
許可がいります🐶🐶


…わっ



きつ…



きれい…!

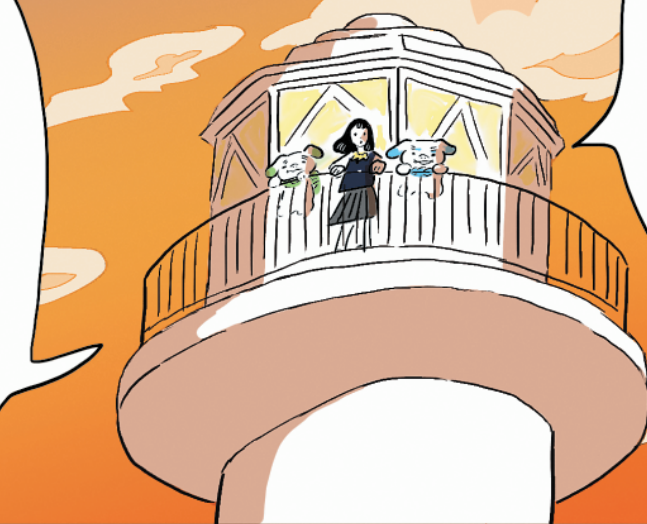


長尾鼻灯台は
昭和2年に点灯し始めて、
それからずっと
光を届け続けているんだ



太古のむかしから
今に至るまで、

長尾鼻はこの地を見守り、
海と陸をつなげてきた…



海とともに
生きてきた町—

それが
青谷なんだ

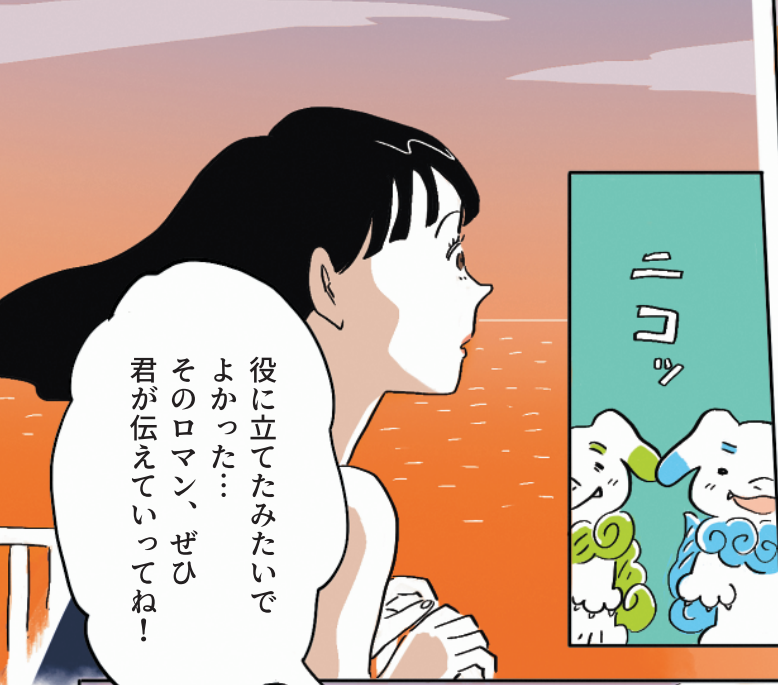


海とともに…

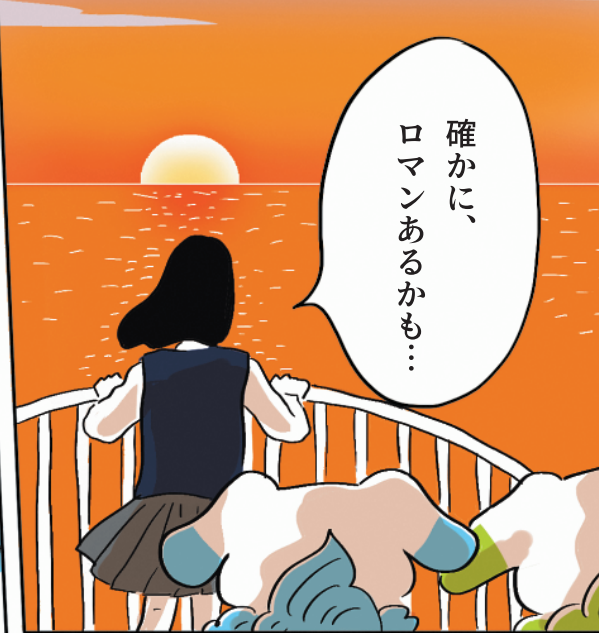


だけえ海とか川を
たどったら
自然と歴史が
見えてくるんだ！





役に立てたみたいで
よかった…
そのロマン、ぜひ
君が伝えていってね!



確かに、
ロマンあるかも…



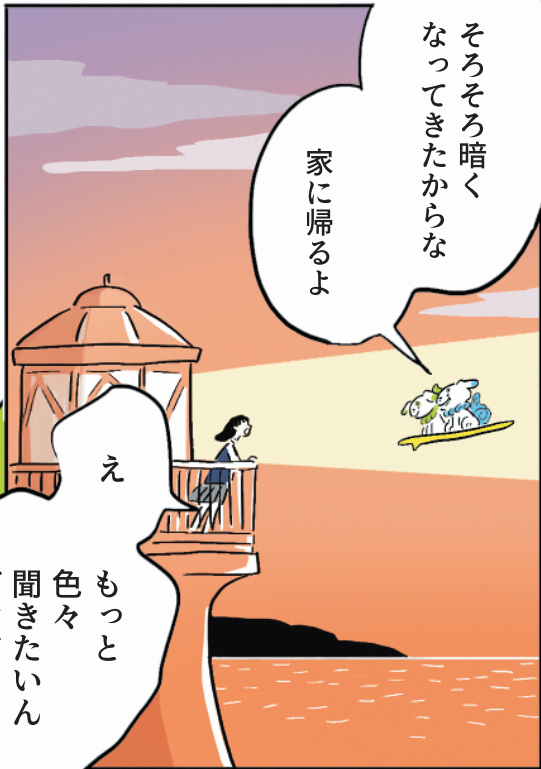
ど
ういふの?

え



あ、これお土産!
青谷の特産品!

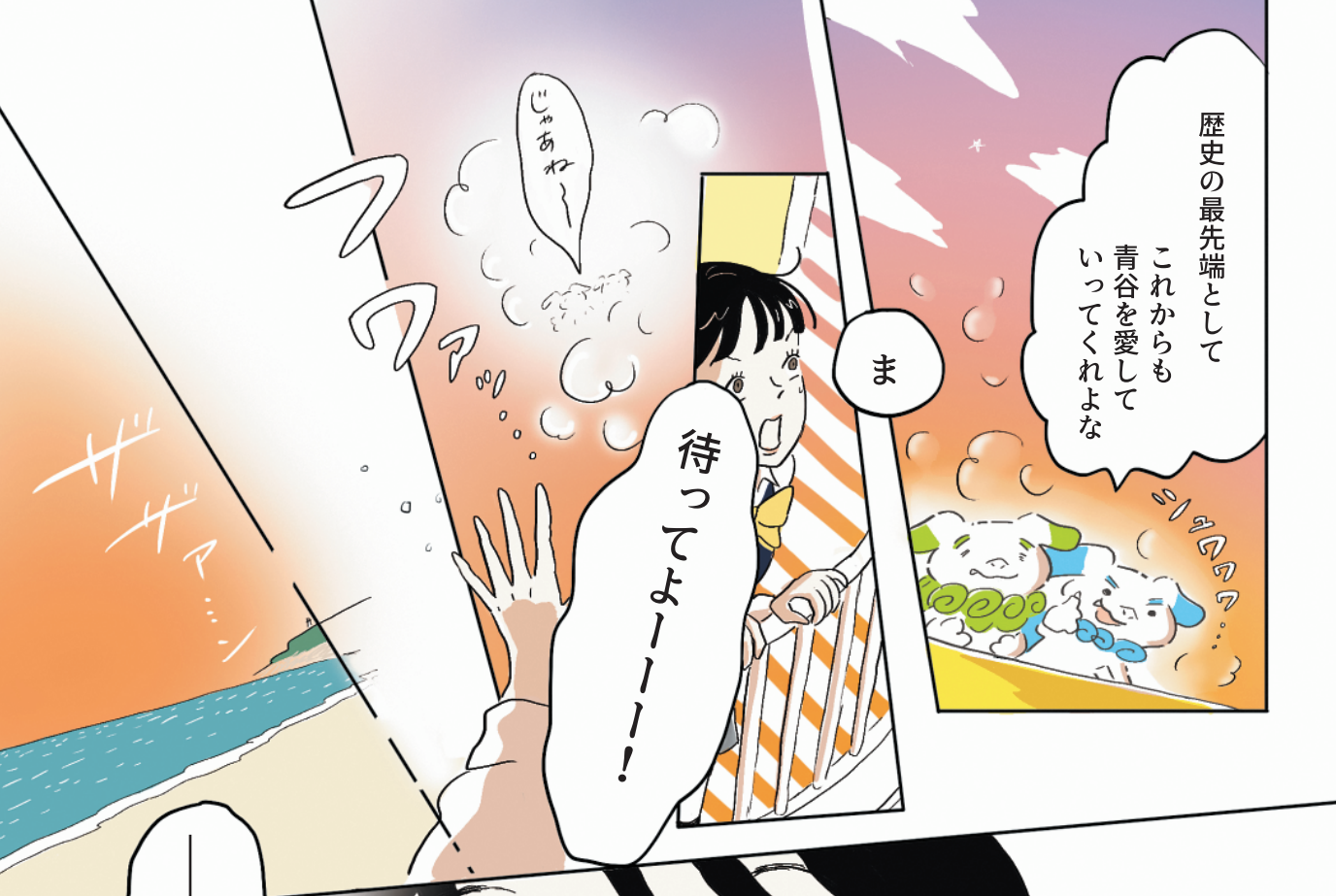
今度は自分でも調べてごらん!
君なら大丈夫!



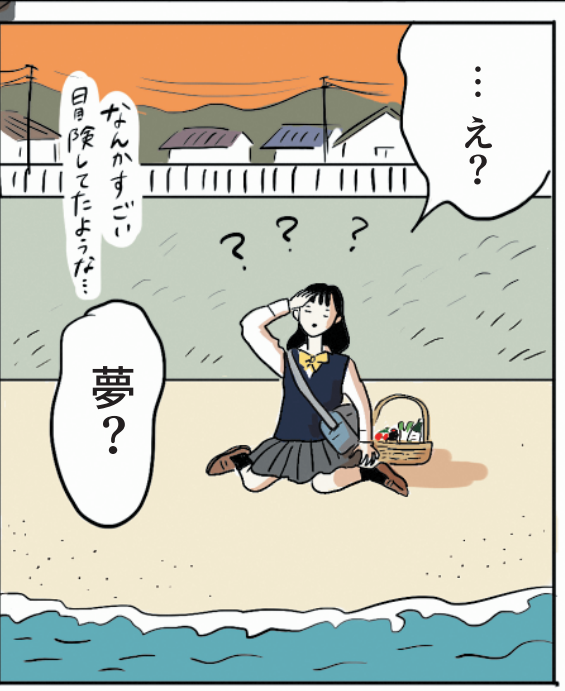
そろそろ暗く
なってきたからな

家に帰るよ

え
もっと
色々
聞きたいん
だけど…



はっ



— 灯子がみたのは
夢か幻か？

その後、
灯子は熱心に青谷を
散策・調査するように—

百又泊海岸 亀石



子守神社



樹齢500年の大イチョウ

空浜公園



歴史を知ると

いつもの町が
以前に増して輝いて
見えるのでした

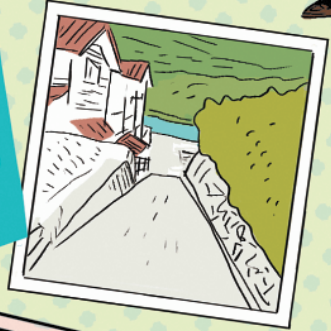
不動滝



30年前の
船問屋が
ハ軒屋地区
に集まった



船への荷物の
運搬に使われた
津出し路地



そして—



考えて
みました！

お店の新しい
コンセプト

ズバリ、テーマは
青谷のロマン！



「ハムは、
海とロマンの街、
青谷…」

今日も灯台は
歴史を灯す

ようこそ
喫茶灯台へ！」



—みたいな
感じどう?!

め…
めちやくちや
いいがな!!

すつてき
だが〜!!



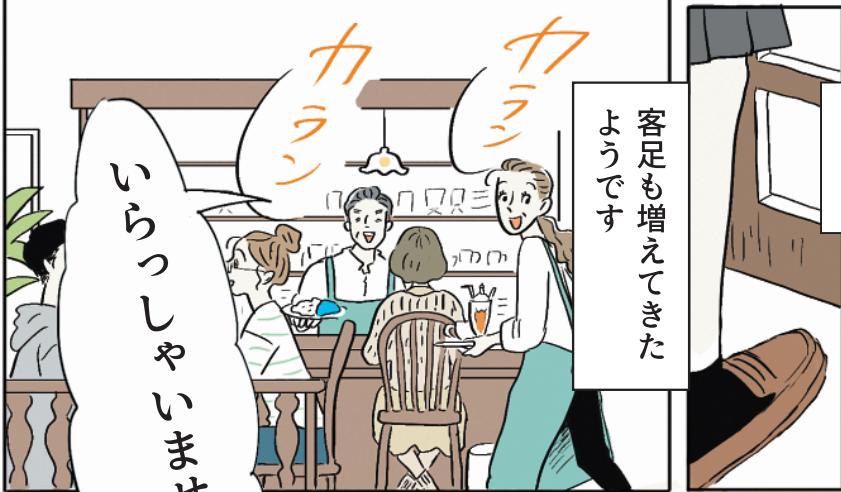
すすか
私らの子!

キャッ

キャッ



お店の方向性は定まり、
新メニューも続々登場—



こちらっしやいませー!

カ
ラ
ン

客足も増えてきた
ようです

少しずつ
着実に…



喫茶灯台って
知ってる？

青谷に
ついてやたら
詳しくなるって
お店でしょ！

けこら
おにいさんだよ



ここにしかない
海のロマンを求めて—



よし、今度は
狛犬をモチーフに何か
考えよう！

灯子、お前学校の
勉強は大丈夫なんか？
ありがたけど！



END

そこにあったのは鳥取の海のロマン 青谷灯台物語

鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会は、「新たな灯台利活用モデル事業」(一般社団法人海洋文化創造フォーラム)の採択を受け、「青谷長尾鼻灯台利活用八良い(弥生)事業」を実施しています。

このマンガは、本事業において、鳥取県立青谷高等学校との連携により作成したものです。地域の海とのかかわりの歴史や長尾鼻灯台について学ぶ授業を実施し、海と灯台の魅力や価値について、イラストレーターの伊吹春香さんとともにシナリオを作り、マンガを作成しました。

「青谷長尾鼻灯台利活用八良い(弥生)事業」は、新たな海洋体験を創造していく「海と灯台プロジェクト」の一環です。



*詳しい内容は、YouTube「海と日本 長尾鼻灯台」で検索

「海と灯台プロジェクト」とは?

人と海は、時間的にも空間的な意味においても「灯台」を境に関わってきました。航路標識として、従来の船舶交通の安全を担うという重要な役割から広がりつつある灯台。その存在意義について考え、灯台を中心に地域の海の記憶を掘り起こし、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぎ、新たな海洋体験を創造していくプロジェクトです。海と灯台プロジェクトは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環です。



海の安全を守ってきた「長尾鼻灯台」

長尾鼻灯台は、鳥取市青谷町の長尾鼻に立つ灯台。設置当初(昭和2年)は、簡易な柱の上に光が灯されていましたが、戦後まもない昭和28年にコンクリート造りの立派な灯台になりました。なお、昭和44年までは灯台に宿舎があり職員・家族が居住していました。無人となった現在も、沖行く船の安全を見守り続けています。

- 塗色構造 白塔形
- 灯 質 単閃白光 毎6秒に1閃光 FI W 8s 光度 390,000カンデラ
- 光達距離 21.5海里
- 塔 高 14メートル
- 灯 高 68メートル
- 初点灯 昭和2年4月

長尾鼻灯台

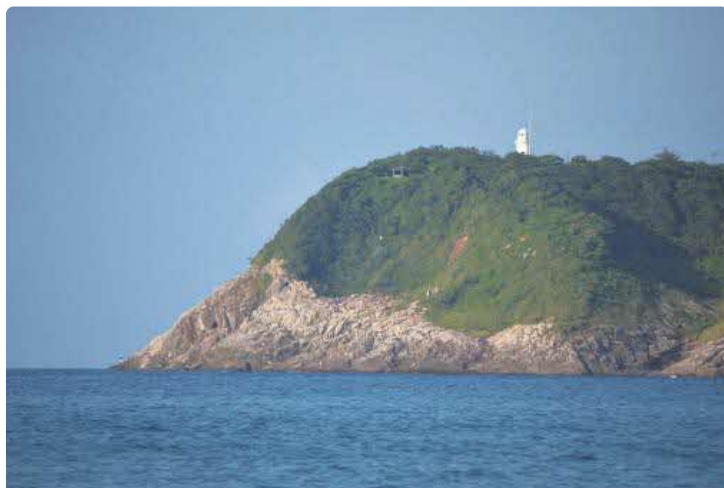


海上保安庁 境海上保安部 次長 平山浩 作

港町として栄えた青谷

青谷の勝部川河口には、江戸時代から明治時代にかけて芦崎湊と呼ばれた天然の港があり、たくさんの廻船が往来しました。川岸には廻船問屋が建ち並び、港町として大いににぎわいました。

現在も、船主集落の町割りや、廻船の積み荷を運んだ「津出し路地」が残っています。河口近くにある湊神社(元湊八幡宮)には、いずれも当時の廻船問屋などが寄進した石灯ろうやこま犬、廻船(北前船)の模型などが残されています。これらの中に、寛政13年(1801)に赤間関(今の下関市)の商人が廻船(北前船)で運び寄進したこま犬があります。



撮影 松原雅彦

Credit

- 主 催 鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会
- 共 催 日本財団 海と日本 PROJECT
海洋文化創造フォーラム
- 運 営 鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会（委員長 岸本雄司）
- 運営協力 日本海テレビ
- 調査協力 鳥取県立青谷高等学校
- 原案・調査 青谷学 II 文学・歴史
久野 忍 倉繁健太 幸山 萌 古川 憂 森田愛結美 井口日翔
担当教諭 奥田政治

Special Thanks

- 長 尾 鼻 灯 台 調 査 海上保安庁境海上保安部 次長 平山 浩
- 現 場 整 備 青谷町磯釣り組合
- ドローンで灯台を見よう 株式会社 skyer 宇佐美孝太 松岡飛鳥
- 海から灯台を見よう 鳥取県自然体験塾 長谷川浩二
- 青谷と弥生文化と長尾鼻灯台 鳥取県とっとり弥生の王国推進課 濱田竜彦

- 監 修 鳥取市青谷町総合支所地域振興課 松原雅彦
- ディレクター 竹之内淳
- 企画・プロデュース 仲子宏明（日本海テレビ）
- 編 集 バニラ
- 漫 画 伊吹春香



今回ストーリー作成から作画まで担当させて頂き、自分自身も青谷の歴史を楽しく学ぶことが出来ました。実をいうと、ずっと鳥取に住んでいるのに長尾鼻灯台の存在を知りませんでした。また、実際に青谷の町を回ってみて、こんなに絶景がたくさんあったのか…と新しい発見がたくさんでした。（この感動は夕焼けのページに込めました。）この漫画を通して長尾鼻灯台の魅力がもっと広まっていくのであれば嬉しいです！

令和5年度OPEN！青谷かみじち史跡公園

令和5年度には「青谷かみじち史跡公園」がオープン！「とっとり弥生の王国」に新たな魅力が誕生します。
国内屈指の弥生時代遺跡「青谷上寺地遺跡」をぜひ体感してください。

- 重要文化財棟で、“弥生の美”を満喫。
- 展示ガイダンス施設で、青谷上寺地遺跡を知り、弥生時代に詳しくなるう！
- 弥生時代の地形を再現。広々とした公園をゆったりと散策しよう！

展示ガイダンス施設 史跡公園のエントランス施設

展示



ガイダンス棟

“弥生の里めぐりが楽しめる！”

「海の民、ものづくりの匠」たちが暮らしていた青谷上寺地の世界観を体感！

重要文化財棟 鑑賞！“弥生の美”

青谷の弥生人が造り出した弥生時代の最高傑作。国の重要文化財に指定された出土品をじっくり鑑賞いただけます。

音声解説の導入など、多くの方々に楽しんでいただける展示を目指しています。



重要文化財棟

鑑賞！“弥生の美”

青谷の弥生人が造り出した弥生時代の最高傑作。国の重要文化財に指定された出土品をじっくり鑑賞いただけます。

音声解説の導入など、多くの方々に楽しんでいただける展示を目指しています。

施設

- 体験学習室（最大90人利用可能）
- ・日常的なお手軽弥生体験のほか、ものづくり体験、歴史講座など弥生文化に関する様々なプログラムを行います。
- ・学校活動、地域活動等にも利用いただけます。

- その他設備
- ・駐車場（一般31台、車いす・ハートバス各2台）
- ・別荘第2駐車場あり（大型バス6台、普通車20台）

障がいのある方への対応など、バリアフリーに配慮した施設整備を行います。



体験学習室





展示・体験施設



“弥生の美”



弥生の自然景観

ここがポイント

国内屈指の弥生時代遺跡 “青谷上寺地遺跡”を体感しよう

- 重要文化財棟で、“弥生の美”を満喫。
- 展示ガイダンス施設で、青谷上寺地遺跡を知り、弥生時代に詳しくなるう！
- 弥生時代の地形を再現。広々とした公園をゆったりと散策しよう！

・ご家族連れ、学校等の団体など、幅広い方々に楽しんでいただけます。

・山陰自動車道青谷ICから車で数分。お気軽にお立ち寄りいただけます。

青谷の街で味わえる「弥生グルメ」

青谷弥生人が食べていた食材（古代米、鳥獣肉、木の実など）を用いた青谷でしか味わえないグルメがたくさん。ぜひ一度ご賞味下さい！

青谷かみじち遺跡のまち 弥生グルメ

古代米・鳥獣肉の発酵食品「糟」を味わおう！

カリッと香ばすと弥生のスイーツ

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

300円

弥生人も食べていた人気メニュー

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

1000円

発酵する美味しいばいばいのパフェ

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

841円

青谷上寺地遺跡のお土産といえぶこり

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

106円

弥生人のおやつ？あんこトースターサンド

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

330円

出土品がモチーフの米粉クッキー

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

180円

弥生時代に思いを馳せて召し上がれ！

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

1820円

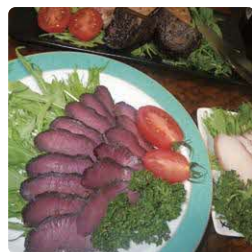
弥生の山で採れたお漬物の漬物山盛

弥生時代の発酵食品「糟」を味わおう！

1000円

★お問い合わせ先 青谷かみじち史跡公園 弥生時代遺跡展示施設 弥生時代遺跡展示施設 弥生時代遺跡展示施設

TEL.0857-82-0809



弥生グルメの詳細はこちら！



青谷町観光協会HP



